

No 104

2023.11
<令和5年>

富良野市議会だより

フラノギカイ



主な内容

- ・9月定例会で行われた主な質疑・請願審査結果報告 ··· P2~3
- ・一般質問 ··· P5~7
- ・委員会報告 ··· P8~10
- ・可決された意見書 ··· P10~P11
- ・特集 議会への市民参加 ··· P13
- ・議会の中からこにちは・編集後記 ··· P14

晴天の中で行われた
ふらのワインぶどうまつり2023

令和5年 第3回 富良野市議会定例会議決結果表

令和5年9月12日～9月26日(15日間)

議決結果



一般質問



富良野市議会のYouTubeチャンネルでは、議案質疑や一般質問など、本会議のすべてを視聴できます。左のQRコードを読み込むとサイトに接続できます。

答 本市の強みである環境への取り組みやこのまちを舞台として発信してきた「北の国から」メッセー
ジやロケセットの活用により誘客を進め本市のブランド向上に役立
たい。

問 テレビドラマ「北の国から」のロケセットを「ゼロカーボン社会構築のメッセージ」として新たな切り口で見直し、富良野の強みを最大限活用する考えは。

答 現在、このウェブサイトは観光協会や市のホームページとリンクしているため、今後リンクさせたい。また、このウェブサイトは観光情報を活用して旅行前の観光客に情報提供を検討する。

問 本市のごみのリサイクルの取り組みやごみ処理の方法等を積極的にアピールし、観光客が旅行に出る前に本市の取組みを理解していく必要があるが見解は。

答 ごみのリサイクルを周知するウェブサイトを開設している。これを活用して旅行前の観光客に情報提供を検討する。

本市のゼロカーボンシティ宣言と運動させた環境観光について

本市のごみのリサイクルの取り組みやごみ処理の方法等を積極的にアピールし、観光客が旅行に出る前に本市の取組みを理解していく必要があるが見解は。

| 議案番号 | 事 件 名 | 議決月日 | 議決結果 |
|------------------|--|-------|---------------|
| (5年第2定) 議案第3号 | 富良野市文化芸術基本条例の制定について | 9月12日 | 原案可決 |
| 議案第1号 | 令和5年度富良野市一般会計補正予算(第6号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第2号 | 令和5年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 令和5年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 令和5年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第5号 | 令和5年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第6号 | 令和5年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第1号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第7号 | 富良野市簡易水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第8号 | 名譽市民の推薦について | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 富良野市表彰条例に基づく表彰について | 9月12日 | 原案同意 |
| 議案第10号 | 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 令和5年度富良野市一般会計補正予算(第7号) | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第12号 | 議員の派遣について | 9月26日 | 原案可決 |
| 議案第13号 | 議員の派遣について | 9月26日 | 原案可決 |
| 報告第1号 | 令和4年度健全化判断比率について | 9月12日 | 報告済 |
| 報告第2号 | 令和4年度資金不足比率について | 9月12日 | 報告済 |
| 報告第3号 | 株式会社富良野振興公社の経営状況について | 9月12日 | 報告済 |
| 報告第4号 | 株式会社ふらの農産公社の経営状況について | 9月12日 | 報告済 |
| 報告第5号 | 一般財団法人富良野市農業担い手育成機構の経営状況について | 9月12日 | 報告済 |
| 報告第6号 | 株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について | 9月12日 | 報告済 |
| 報告第7号 | 専決処分報告について(令和5年度富良野市一般会計補正予算(第5号)) | 9月12日 | 原案承認 |
| 報告第8号 | 専決処分報告について(桂木児童センターの落雪による損害賠償及び和解について) | 9月12日 | 報告済 |
| 認定第1号 | 令和4年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第2号 | 令和4年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第3号 | 令和4年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第4号 | 令和4年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第5号 | 令和4年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第6号 | 令和4年度富良野市水道事業会計歳入歳出決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第7号 | 令和4年度富良野市下水道事業会計決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 認定第8号 | 令和4年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について | 9月12日 | 特別委員会設置付託継続調査 |
| 意見案第1号 | 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書 | 9月26日 | 原案可決 |
| 意見案第2号 | 国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書 | 9月26日 | 原案可決 |
| 意見案第3号 | ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書 | 9月26日 | 原案可決 |
| 意見案第4号 | 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書 | 9月26日 | 原案可決 |
| 意見案第5号 | 有害鳥獣対策のさらなる推進を求める意見書 | 9月26日 | 原案可決 |
| 請願第1号 | 小・中学校給食費の無料化を求める請願 | 9月26日 | 趣旨採択 |
| その他会議に付した事件 | 発議 議員の派遣について | 9月26日 | 決定 |
| | 議会運営委員会報告(議連調査第2号) | 9月12日 | 中間報告 |
| | 所管事項に関する委員会報告 | | |
| | ・事務調査報告(総務文教) | 9月12日 | 中間報告 |
| | ・事務調査報告(市民福祉) | 9月12日 | 中間報告 |
| | ・事務調査報告(経済建設) | 9月12日 | 報告済 |
| | 監査委員報告 | | |
| | ・例月出納検査結果報告(令和4年度5月分、令和5年度5月分～7月分) | 9月12日 | 報告済4件 |
| | 令和4年度富良野市教育行政評価報告 | 9月12日 | 報告済 |
| | 議案第6号 令和5年度富良野市ワイン事業会計補正予算の補正予算説明書の訂正について | 9月26日 | 承認 |
| | 閉会中の事務調査について(経済建設) | 9月26日 | 許可1件 |
| | 閉会中の都市事例調査について(市民福祉) | 9月26日 | 許可1件 |



サスティナブルドラマへのリンクのあるチラシ

答 兵庫県豊岡市や道内の自治体など同様の仕組みを導入しており、これらの自治体について調査研究を行っている。次年度以降の取組みに反映できるよう、現在検討中である。



佐藤秀靖

「ふらの未来の会」

がん予防とがん患者の支援を

大栗 民江
(無会派)

子どもたちの過ごす居場所における夏季の暑さ対策と空調(冷房)設備の設置について

大西 二奈子
(ふらの未来の会)

乳がん予防とがん患者の支援について

問 乳がんへの関心を持つてもらうため、浴場やシャワールームでセルフチェックを習慣化する環境づくりが必要で、それに役立つ自己診察カードなどの活用について市の考え方を伺う。

答 ハイランドふらのやふらつ等でカードを活用していたが、更に関心を高めるために、検診時の自己検診法の説明やリーフレットを配布することが有効と考える。がん治療における、患者の心理的及び経済的な負担を軽減できるよう外見のケアに対する支援制度を必要と考えるが市の見解は。

問 医療用ウイッグや胸部補装具などの購入費用に対する助成制度については、先行実施の自治体等を参考に、調査研究を進めていく。

問 子宮頸がん予防のため、ワクチンの積極的な接種勧奨の対応状況と接種漏れを防ぐ対策について伺う。

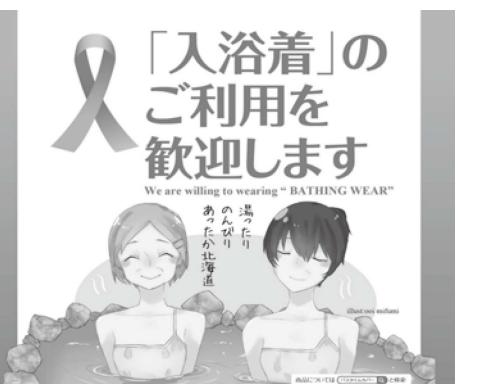
答 平成25年4月より勧奨を控えていたが、令和4年より再開し、個別通知及びキャッチアップ接種として、控えてきた期間に接種対象となつた方への通知により行つ

ている。また、ワクチンは市内3カ所で接種が可能である。希望者の接種漏れがないよう、あらゆる機会を通じて接種の周知に努める。

熱中症予防の取組について

問 热中症予防のため、市におけるクールシエア等の取組状況

答 クールスポットとなる公共施設は、やCO₂削減に効果的であることから、市複合庁舎や図書館などの公共施設をクールスポットとして紹介するなど取組を進めていく。



乳がん患者への入浴着理解促進ポスター

問 今季の暑さは、全道的に学校が臨時休業等になる非常事態であった。環境省と文科省が出した「熱中症対策ガイドライン」の策定等、学校現場が迅速に対応を判断するために、一歩踏み込んだ対応が必要だつたと考るが本市の見解は。

問 子どもたちの過ごす居場所における夏季の暑さ対策と空調(冷房)設備の設置について

答 本手引きをもとに学校へ指導・助言を行つて、本市独自のガイドライン作成は現時点でも考えていない。次年度に向けて各学校の困り感に対する協議は必要と考えており、今後、校長会等を通して検討を進めていく。

問 「すべては子どもたち」のため、早急に市内小中学校に冷房設置が必要だと考るが見解は。

答 財源確保に向けて国等への緊急要望を行いながら設置に向けた努力を行い、一時的なクールスポットなどの環境整備とともに、学校長寿命化計画の改修工事と併せて冷房設置の見直しを進めていく。

問 夏休みも運営する学童保育施設に冷房設置が必要だと考るが見解は。

答 虹いろ保育所では、幼児の活動に支障がない室温に設定して管理し、暑さによる体調不良の子どもはいなかつた。へき地保育所の冷房設置については、状況を見ながら効果的な方法を検討する。

乳がん予防とがん患者の支援について

問 乳がんへの関心を持つてもらうため、浴場やシャワールームでセルフチェックを習慣化する環境づくりが必要で、それに役立つ自己診察カードなどの活用について市の考え方を伺う。

問 ハイランドふらのやふらつ等でカードを活用していたが、更に関心を高めるために、検診時の自己検診法の説明やリーフレットを配布することが有効と考える。がん治療における、患者の心理的及び経済的な負担を軽減できるよう外見のケアに対する支援制度を必要と考えるが市の見解は。

問 医療用ウイッグや胸部補装具などの購入費用に対する助成制度については、先行実施の自治体等を参考に、調査研究を進めていく。

問 子宮頸がん予防のため、ワクチンの積極的な接種勧奨の対応状況と接種漏れを防ぐ対策について伺う。

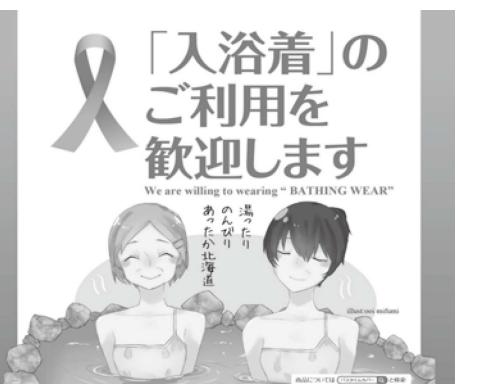
答 平成25年4月より勧奨を控えていたが、令和4年より再開し、個別通知及びキャッチアップ接種として、控えてきた期間に接種対象となつた方への通知により行つ

ている。また、ワクチンは市内3カ所で接種が可能である。希望者の接種漏れがないよう、あらゆる機会を通じて接種の周知に努める。

熱中症予防の取組について

問 热中症予防のため、市におけるクールシエア等の取組状況

答 クールスポットとなる公共施設は、やCO₂削減に効果的であることから、市複合庁舎や図書館などの公共施設をクールスポットとして紹介するなど取組を進めていく。



乳がん患者への入浴着理解促進ポスター

問 今季の暑さは、全道的に学校が臨時休業等になる非常事態であった。環境省と文科省が出した「熱中症対策ガイドライン」の策定等、学校現場が迅速に対応を判断するために、一歩踏み込んだ対応が必要だつたと考るが本市の見解は。

問 子どもたちの過ごす居場所における夏季の暑さ対策と空調(冷房)設備の設置について

答 本手引きをもとに学校へ指導・助言を行つて、本市独自のガイドライン作成は現時点でも考えていない。次年度に向けて各学校の困り感に対する協議は必要と考えており、今後、校長会等を通して検討を進めていく。

問 「すべては子どもたち」のため、早急に市内小中学校に冷房設置が必要だと考るが見解は。

答 虹いろ保育所では、幼児の活動に支障がない室温に設定して管理し、暑さによる体調不良の子どもはいなかつた。へき地保育所の冷房設置については、状況を見ながら効果的な方法を検討する。

乳がん予防とがん患者の支援について

問 乳がんへの関心を持つてもらうため、浴場やシャワールームでセルフチェックを習慣化する環境づくりが必要で、それに役立つ自己診察カードなどの活用について市の考え方を伺う。

問 ハイランドふらのやふらつ等でカードを活用していたが、更に関心を高めるために、検診時の自己検診法の説明やリーフレットを配布することが有効と考える。がん治療における、患者の心理的及び経済的な負担を軽減できるよう外見のケアに対する支援制度を必要と考えるが市の見解は。

問 医療用ウイッグや胸部補装具などの購入費用に対する助成制度については、先行実施の自治体等を参考に、調査研究を進めていく。

問 子宮頸がん予防のため、ワクチンの積極的な接種勧奨の対応状況と接種漏れを防ぐ対策について伺う。

答 平成25年4月より勧奨を控えていたが、令和4年より再開し、個別通知及びキャッチアップ接種として、控えてきた期間に接種対象となつた方への通知により行つ

ている。また、ワクチンは市内3カ所で接種が可能である。希望者の接種漏れがないよう、あらゆる機会を通じて接種の周知に努める。

熱中症予防の取組について

問 热中症予防のため、市におけるクールシエア等の取組状況

答 クールスポットとなる公共施設は、やCO₂削減に効果的であることから、市複合庁舎や図書館などの公共施設をクールスポットとして紹介するなど取組を進めていく。



乳がん患者への入浴着理解促進ポスター

問 今季の暑さは、全道的に学校が臨時休業等になる非常事態であった。環境省と文科省が出した「熱中症対策ガイドライン」の策定等、学校現場が迅速に対応を判断するために、一歩踏み込んだ対応が必要だつたと考るが本市の見解は。

問 子どもたちの過ごす居場所における夏季の暑さ対策と空調(冷房)設備の設置について

答 本手引きをもとに学校へ指導・助言を行つて、本市独自のガイドライン作成は現時点でも考えていない。次年度に向けて各学校の困り感に対する協議は必要と考えており、今後、校長会等を通して検討を進めていく。

問 「すべては子どもたち」のため、早急に市内小中学校に冷房設置が必要だと考るが見解は。

答 虹いろ保育所では、幼児の活動に支障がない室温に設定して管理し、暑さによる体調不良の子どもはいなかつた。へき地保育所の冷房設置については、状況を見ながら効果的な方法を検討する。

乳がん予防とがん患者の支援について

問 乳がんへの関心を持つてもらうため、浴場やシャワールームでセルフチェックを習慣化する環境づくりが必要で、それに役立つ自己診察カードなどの活用について市の考え方を伺う。

問 ハイランドふらのやふらつ等でカードを活用していたが、更に関心を高めるために、検診時の自己検診法の説明やリーフレットを配布することが有効と考える。がん治療における、患者の心理的及び経済的な負担を軽減できるよう外見のケアに対する支援制度を必要と考えるが市の見解は。

問 医療用ウイッグや胸部補装具などの購入費用に対する助成制度については、先行実施の自治体等を参考に、調査研究を進めていく。

問 子宮頸がん予防のため、ワクチンの積極的な接種勧奨の対応状況と接種漏れを防ぐ対策について伺う。

答 平成25年4月より勧奨を控えていたが、令和4年より再開し、個別通知及びキャッチアップ接種として、控えてきた期間に接種対象となつた方への通知により行つ

ている。また、ワクチンは市内3カ所で接種が可能である。希望者の接種漏れがないよう、あらゆる機会を通じて接種の周知に努める。

熱中症予防の取組について

問 热中症予防のため、市におけるクールシエア等の取組状況

答 クールスポットとなる公共施設は、やCO₂削減に効果的であることから、市複合庁舎や図書館などの公共施設をクールスポットとして紹介するなど取組を進めていく。



乳がん患者への入浴着理解促進ポスター

問 今季の暑さは、全道的に学校が臨時休業等になる非常事態であった。環境省と文科省が出した「熱中症対策ガイドライン」の策定等、学校現場が迅速に対応を判断するために、一歩踏み込んだ対応が必要だつたと考るが本市の見解は。

問 子どもたちの過ごす居場所における夏季の暑さ対策と空調(冷房)設備の設置について

答 本手引きをもとに学校へ指導・助言を行つて、本市独自のガイドライン作成は現時点でも考えていない。次年度に向けて各学校の困り感に対する協議は必要と考えており、今後、校長会等を通して検討を進めていく。

問 「すべては子どもたち」のため、早急に市内小中学校に冷房設置が必要だと考るが見解は。

答 虹いろ保育所では、幼児の活動に支障がない室温に設定して管理し、暑さによる体調不良の子どもはいなかつた。へき地保育所の冷房設置については、状況を見ながら効果的な方法を検討する。

乳がん予防とがん患者の支援について

問 乳がんへの関心を持つてもらうため、浴場やシャワールームでセルフチェックを習慣化する環境づくりが必要で、それに役立つ自己診察カードなどの活用について市の考え方を伺う。

問 ハイランドふらのやふらつ等でカードを活用していたが、更に関心を高めるために、検診時の自己検診法の説明やリーフレットを配布することが有効と考える。がん治療における、患者の心理的及び経済的な負担を軽減できるよう外見のケアに対する支援制度を必要と考えるが市の見解は。

問 医療用ウイッグや胸部補装具などの購入費用に対する助成制度については、先行実施の自治体等を参考に、調査研究を進めていく。

問 子宮頸がん予防のため、ワクチンの積極的な接種勧奨の対応状況と接種漏れを防ぐ対策について伺う。

答 平成25年4月より勧奨を控えていたが、令和4年より再開し、個別通知及びキャッチアップ接種として、控えてきた期間に接種対象となつた方への通知により行つ

ている。また、ワクチンは市内3カ所で接種が可能である。希望者の接種漏れがないよう、あらゆる機会を通じて接種の周知に努める。

熱中症予防の取組について

問 热中症予防のため、市におけるクールシエア等の取組状況

答 クールスポットとなる公共施設は、やCO₂削減に効果的であることから、市複合庁舎や図書館などの公共施設をクールスポットとして紹介するなど取組を進めていく。



乳がん患者への入浴着理解促進ポスター

問 今季の暑さは、全道的に学校が臨時休業等になる非常事態であった。環境省と文科省が出した「熱中症対策ガイドライン」の策定等、学校現場が迅速に対応を判断するために、一歩踏み込んだ対応が必要だつたと考るが本市の見解は。

問 子どもたちの過ごす居場所における夏季の暑さ対策と空調(冷房)設備の設置について

答 本手引きをもとに学校へ指導・助言を行つて、本市独自のガイドライン作成は現時点でも考えていない。次年度に向けて各学校の困り感に対する協議は必要と考えており、今後、校長会等を通して検討を進めていく。

問 「すべては子どもたち」のため、早急に市内小中学校に冷房設置が必要だと考るが見解は。

答 虹いろ保育所では、幼児の活動に支障がない室温に設定して管理し、暑さによる体調不良の子どもはいなかつた。へき地保育所の冷房設置については、状況を見ながら効果的な方法を検討する。

乳がん予防とがん患者の支援について

問 乳がんへの関心を持つてもらうため、浴場やシャワールームでセルフチェックを習慣化する環境づくりが必要で、それに役立つ自己診察カードなどの活用について市の考え方を伺う。

問 ハイランドふらのやふらつ等でカードを活用していたが、更に関心を高めるために、検診時の自己検診法の説明やリーフレットを配布することが有効と考える。がん治療における、患者の心理的及び経済的な負担を軽減できるよう外見のケアに対する支援制度を必要と考えるが市の見解は。

問 医療用ウイッグや胸部補装具などの購入費用に対する助成制度については、先行実施の自治体等を参考に、調査研究を進めていく。

問 子宮頸がん予防のため、ワクチンの積極的な接種勧奨の対応状況と接種漏れを防ぐ対策について伺う。

答 平成25年4月より勧奨を控えていたが、令和4年より再開し、個別通知及びキャッチアップ接種として、控えてきた期間に接種対象となつた方への通知により行つ

ている。また、ワクチンは市内3カ所で接種が可能である。希望者の接種漏れがないよう、あらゆる機会を通じて接種の周知に努める。

熱中症予防の取組について

問 热中症予防のため、市

本委員会では議会改革における過去の決定事項に関し各委員の認識に差が見られるため、これまでの議会改革特別委員会報告並びに議会改革特別委員会議録など、過去の経緯について確認しました。

確認の過程では、令和4年第3回定例会における議会改革特別委員会報告において「住民自治の根幹である市議会に対する、市民の理解を深める努力を市議会が積極的に行つて行くことが、議員のなり手不足の解消と議会機能の向上に繋がるものと考える」とあることを確認し、これを受けて議論を進めたところ、これから議会改革に取組むための考え方を整理する必要があるとの結論に至りました。

考え方の整理に向けた議論では、議会改革の向かうべき方向や改革の柱を定めるべきとの考え方を具体的に表すと、議会機能の向上及び議員力の向上が不可欠であるとの意見で一致し、「目指すべき議会機能や議員力」と私たちに現状足りないものは何かを確認し、足りない点を解消するための取組み作業が議会改革に向けた取組みになる必要があるとの結論に至りました。

その結果、議会基本条例第6条「情報公開と市民参加の推進」について議論が集中し、なかでも喫緊の課題として基本条例第6条第5項の1「市民への説明責任を果たすため議会報告会を開催する」の議会改革のあり方について挙げられました。

議会報告会は今年度の開催に向け動き出している事や例年では議会報告会役員会により開催内容を検討することから、本委員会は議員報告会役員会と連動して今後の「議会報告会のあり方」について議論を進めることで意見の一致を見たところです。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能が期待され、発揮させるために、森林資源の循環利用を進める必要がある。

全国一の森林資源を有する本道が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする目標達成に向け、植林による森林の若返りや木材利用の促進、化石燃料の代替となる木質バイオマスの利用等の推進など森林吸収源対策を推進する責務を担うことが必要である。森林の公益的機能の維持増進と資源の循環利用に向け、整備事業や治山事業などを活用し、植林・間伐や路網の整備、災害の防止、木造公共施設の整備、人材育成など、様々な取組を進めてきている。森林を将来の世代に引き継ぎ、循環型社会を形成するため、森林づくりや道産木材の利用、を進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を要望する意見書。

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

義務教育費国庫負担制度は、教職員の給与の一部を国が負担する制度である。教育の機会均等を確保するために、国の責任において本制度を堅持し、国の負担率を1/2へと復元することが重要である。

教職員定数の標準に関する法律の一部が改正され、小学校において段階的に35人以下学級の実現が進められるが、中学・高校については検討するにとどまっている。35人学級実現のための教職員定数改善が4,808人であるのにに対し6,132人の減少となつており、教職員増とはなつてない。また、私費負担が減少せず、教材費や図書費についても自治体により措置に格差が生じている。

さらに経済的理由で進学就学を断念する者が増加しており、その解消が求められている。教育環境の充実と合わせ、国による義務教育無償をはじめ、教職員の多忙化の解消など、教育予算の確保と拡充を要請する意見書。

有害鳥獣対策のさらなる推進を求める意見書

自然環境の変化等を背景に、有害鳥獣の数は増加、その生息域が拡大し人々の生活圏にまで広がっている状況から、農作物への被害はもとより、農業の継続においても深刻な状態を招いている。

また、ヒグマによる人的被害が数多く報告されており、財産のみならず、人の命を守る事や安心・安全な生活を送るために、これも様々な対策を講じてきているが、狩猟者の高齢化等に伴う人材不足、狩猟免許の取得や狩猟の継続等に要する経費負担等に加え、銃砲刀剣類所持等取締法など規制の厳しさもあり、狩猟者が減少傾向にある。

さらに、狩猟者が捕獲後の処理に伴う負担や見回り等の経費の増加、銃弾等の購入経費など維持管理費の増加等、様々な問題があり、有害鳥獣による農林業被害の根絶には至っていない状況のため、国において、有害鳥獣対策のさらなる推進を求める意見書。

軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

軽油引取税については、平成21年度の地方税法の改正により、一般財源化され、道路の使用に直接関連しない機械等に使われる軽油に設けられている免税制度が、令和3年3月末で廃止される予定となりましたが、関係者等からの強い要望により延長が認められ、令和6年3月末で期限を迎える。

本市内のスキー場においても、安全・安心かつ快適なゲレンデを提供するため雪面整備に圧雪車等を使用しており、スキー場の経営維持に軽油引取税の課税免除措置は不可欠なものである。本市内のスキー場においても、安全打撃を与えることが危惧される。しかし、観光及び経済にも大きく影響による厳しい経営環境がさらに圧迫され、経営は一層厳しくなり、観光及び経済にも大きな打撃を与えることが危惧される。このよう中、地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、公的施設の老朽化など、様々な課題を抱えている。

国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

社会資本を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害をはじめ、巨大地震のリスク増大のほか、公共施設の老朽化など、様々な課題を抱えている。

今後は、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する地域（生産空間）が持つ潜在力が最大限発揮されるよう、平常時・災害時に向けて、防災・減災、国土強靭化に資する社会資本整備を図ることが必要である。

このよう中、地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国においては、公的事業関係予算を安定的かつ継続的に確保することが重要である。

國においては、公的事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態を反映した配分を行い、防災・減災、国土強靭化のための高規格道路の着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手などを要望する意見書。

令和5年度「議会報告会」を各地域で開催中です!

10月下旬から市内各地で議会報告会を開催し、直近の議会の報告を含めご参加の皆さまとの意見交換を行っています。

各地域の開催案内は地域ごとにお知らせしています。

また、参加できなかった皆さまには、12月に議会報告会で用いた資料にナレーションを入れた動画として配信いたします。

詳しくは富良野市議会ウェブサイトでご確認ください。

議会の市民参加には、議員を選ぶ選挙のほか、様々な方法があります。今回は、本定例会で審議された「請願」についてお知らせします。

市民参加の方法 …… 請願（せいがん）

市議会議員は、市民の皆さんから広く意見や要望を聞く機会があります。

市議会に対しての提案や要望などができるものに「請願（せいがん）」という仕組みがあります。

ここでは、「請願」について解説します。

委員会で請願について審議している様子



良いまちを作るための提案



市民の願意（要望）
(こんなことを実現したい!)
良い仕組みに変えたい



願意を請願書にまとめる

1人以上の紹介議員の紹介で
請願書を富良野市議会に提出

● ポイント解説 ●

委員会とは

富良野市議会には、分野ごとに3つの常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）が、条例で設置されている。
必要な場合には特別委員会が設置される。

付託（ふたく）とは

議案や請願を、所管する委員会において審議を行うこと。

傍聴とは

会議や審議を発言権なしに席場内で見たり聞いたりすること。

採択の種類

請願に対する議会の意思決定は、基本的に「採択」か「不採択」の2種類でとされている。議会として請願の願意（要望）は十分に理解できるが、実現性に確信が持てない、実現できない等と考える場合に、便宜的に「趣意には賛同である」という意味で「趣旨採択」とすることがある。

他の団体へ「請願」できる

富良野市議会に限らず、北海道議会や国会に対しても請願することができる。

議長は各所管の委員会に付託し
委員会で審議する

※ 委員会は、原則としてだれでも傍聴ができます。

委員会で採決
採択か 不採択を決定する

本会議で委員会報告のうえ議決

採決と議決された請願は、議会から
執行機関（富良野市など）に結果が
送られる。

※ 採択して執行機関に送った結果は経過について文書で
報告を求めるることができます。

事務調査申出及び都市事例調査の申出について

[事務調査申出]

● 経済建設委員会では議長の許可を受け、閉会中、次のとおり事務調査を行います。

| 委員会名 | 調査番号 | 調査件名 |
|---------|-------|------------|
| 経済建設委員会 | 調査第4号 | 労働力の確保について |

[都市事例調査申出]

● 市民福祉委員会では議長の許可を受け、閉会中、次のとおり都市事例調査を行います。

| 委員会名 | 調査件名 | 調査地 | 調査日 |
|---------|------------|------------|-------|
| 市民福祉委員会 | 障がい者福祉について | 釧路町 帯広市 | 10月上旬 |

議会日誌 ~令和5年8月から令和5年10月の議会関係の開催状況をお知らせします~

8月

- 2日・議会広報特別委員会
- 3日・議会運営委員会
- 7日・総務文教委員会
・経済建設委員会
- 9日・市民福祉委員会
- 17日・総務文教委員会
・議会運営委員会
- 18日・経済建設委員会
・議会とまちづくりトーク
- 22日・議会広報特別委員会
- 23日・代表者会議
・議会運営委員会
- 28日・総務文教委員会
- 29日・経済建設委員会
- 30日・議員協議会

9月

- 1日・市民福祉委員会
- 5日・第3回定例会告示
- 7日・代表者会議
・議会運営委員会
- 12日・第3回定例会（第1日）
・決算審査特別委員会
・総務文教委員会

10月

- 3日・議会広報特別委員会
・広域連合議会第2回定例会告示
- 4日～5日
・市民福祉委員会都市事例調査
- 10日・広域連合議会第2回定例会
- 11日・経済建設委員会
- 12日・代表者会議
- 13日・市民福祉委員会
- 13日～14日
・北海道市議会議長会道北支部議長会

17日・北海道市議会議長会正副会長会議役員会

19日・北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会

20日・議会広報特別委員会

23日～24日
・全国市議会議長会基地協議会
北海道部会定期総会

26日・経済建設委員会
・議会報告会（末広コミセン）

25日～26日
・第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

27日・議会広報特別委員会

30日・議会とまちづくりトーク
・代表者会議

・市民福祉委員会
・議会報告会（東部児童センター）

31日・議会報告会（南コミセン）

次回定例会（令和5年12月）のご案内

次回定例会の開会予定です。開会は通常10時となっています。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|----|----|----|----|------|----|
| 11/26 | 26 | 28 | 29 | 30 | 12/1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

議会日程は変更になる場合があります。

お聞かせください
あなたの声

「フランギカイ」に対する「ご意見」を伺います！



市議会 HP

広報紙に対するご意見、ご感想をお寄せください。
記事の内容に関するほか、文章や用語・用字、レイアウトなど紙面に
関するものであればどんなことでも構いません。

市民の皆さまの「フランギカイ」に対する思いを、これから広報紙づくり
に役立てたいと考えていますので、ご意見をお待ちしています。

2023.11
(令和5年)

富良野市議会だより
NO. 104

[発行] 富良野市議会 [編集] 富良野市議会広報特別委員会
〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号（議会事務局）

議会の中から こんにちは

より読まれ より伝わる
市議会だより「フランギカイ」へ

議会とまちづくりトーク開催！

今回は富良野市議会議場を使用し、まちを良くするための意見交換「議会とまちづくりトーク」が開催されました。

議題

鳥獣被害の実態と対策

富良野市農業委員会

富良野市議会議員

富良野市は山林に囲まれており、最近は野生動物による農産物の被害が大きく深刻な問題になっています。把握できている被害だけで、1億5千万円であり実際にはその数倍の額になるとも言われます。

今も対策を進めていますが、野生動物や、アライグマ等の外来種が数を増やしており、これまでの対策では追いつかないほどの状況です。



田んぼに入るシカ



動物による食害（メロン・カボチャ）

今後の対策として、鹿侵入防止柵（さく）の維持や有効活用、ハンターの活用や育成、新しい技術の導入、駆除の環境整備等、課題や有効な方法をはじめ、たくさんの意見交換ができました。さらに関係者や自治体、広域での連携等で効果を高めていくことなどの取り組みについても意見交換されました。

富良野市議会では「議会とまちづくりトーク」
を随時受け付けております。

- ▼ 市内にある温度計で40度が示された時もあつた、今年の夏の連日の暑さ。
- ▼ 動物による農作物への食害の増加、行政からの熊出没に関する注意喚起の知らせも増えている。
- ▼ 気候の変化、自然環境の変化は、私たち人間の生活の身近なところでもますます感じるようになりました。時には命の危険を伴うものとして。
- ▼ 果たして、これから未来はどうなつていいのか。誰かに未来を委ねるのではなく、やはり、私たち一人一人が考え、行動していくことが重要だと感じています。
- ▼ 市議会は、市民の皆さんにとって身近で、より開かれた議会を目指して改革を進めています。
- ▼ この「フランギカイ」の中でも、広報に対して、みなさまからのご意見を募集する取り組みを始めました。
- ▼ 身近なことを考えるきっかけの一つとして、この「フランギカイ」を活用していただけたら嬉しく思います。
- ▼ 広報に対するご意見、感想など、是非お寄せください。お待ちしています。

（副委員長 松下 寿美枝）

編集後記

発行責任者

議長 渋谷 正文

議会広報特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 大西三奈子 |
| 副委員長 | 松下寿美枝 |
| 委員 | 大栗民江 |
| " | 関野常勝 |
| " | 坂口邦夫 |
| " | 二宮利和 |
| " | 橋詰亞咲美 |



富良野市議会だよりは古紙パルプ配合率
60%再生紙を使用しています。



[TEL] 0167-39-2322

[URL] <https://www.city.furano.hokkaido.jp/shigikai/>